

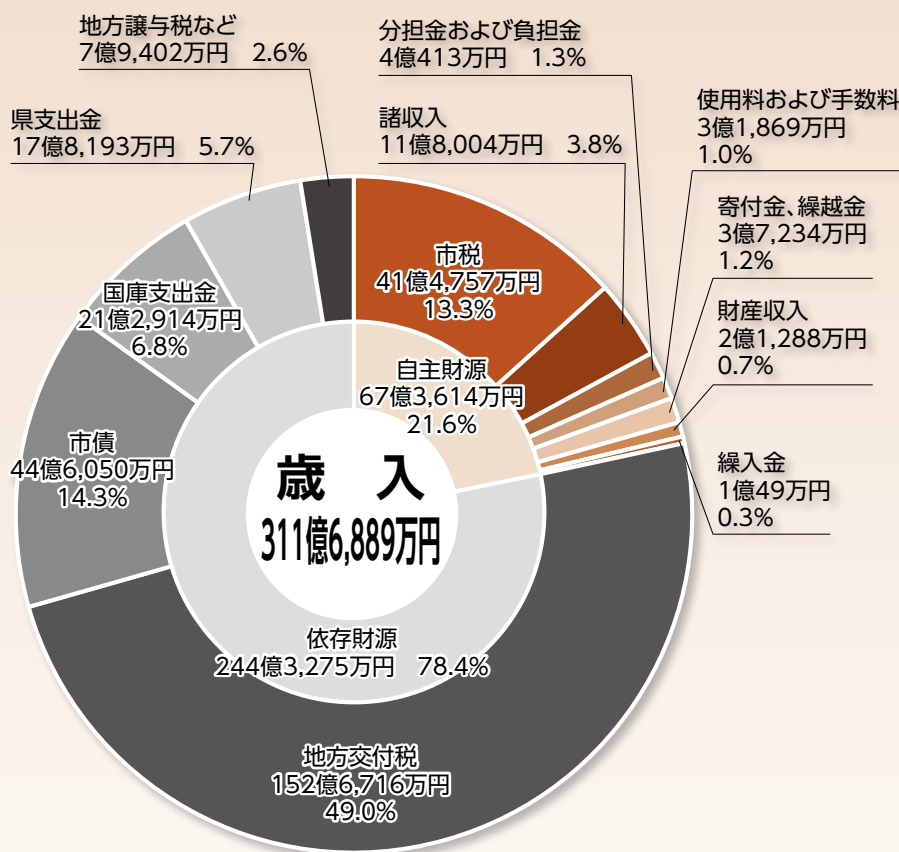
# 決算報告

平成26年度の決算が9月議会で認定されましたので、お知らせします。

一般会計決算では、歳入決算額が311億6,889万円（対前年度2.6%増、歳出決算額が307億5,080万円（同2.3%増）で、歳入歳出差引残額が4億1,809万円となりました。なお、翌年度に繰り越すべき財源は1億5,219万円であり、実質収支は2億6,590万円となりました。

決算の問い合わせは  
財政課  
☎ 0854-40-1023

## 会計



### 特別会計

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
Ⓞ	国民健康保険事業 (事業勘定)	46億9,545万円	46億695万円	8,850万円
	国民健康保険事業 (直営診療施設勘定)	1億3,057万円	1億2,918万円	139万円
	後期高齢者医療事業	10億5,569万円	10億4,821万円	748万円
	農業労働災害共済事業	479万円	478万円	1万円
	簡易水道事業	4億9,837万円	4億9,699万円	138万円
	生活排水事業	25億524万円	25億83万円	441万円
	財産区	34万円	34万円	0万円
Ⓞ	土地区画整理事業	5億2,017万円	5億1,977万円	40万円
	ダム対策事業	1億1,543万円	1億1,524万円	19万円
Ⓞ	清嵐荘事業	1億1,534万円	1億1,527万円	7万円

Ⓞ は一般会計と合わせて普通会計に含まれる特別会計。

### 監査委員の審査意見書から

市税の収入率は98.31%で、山陰12市の中で最も高い。横断的な滞納整理体制の強化が図られ、それによる成果が着実に現れてきている。今後も財源の確保と負担の公平を期するため、未収金の解消に向けて、引き続き関係部局間の連携を図り、総力を挙げて取り組まれることを望む。

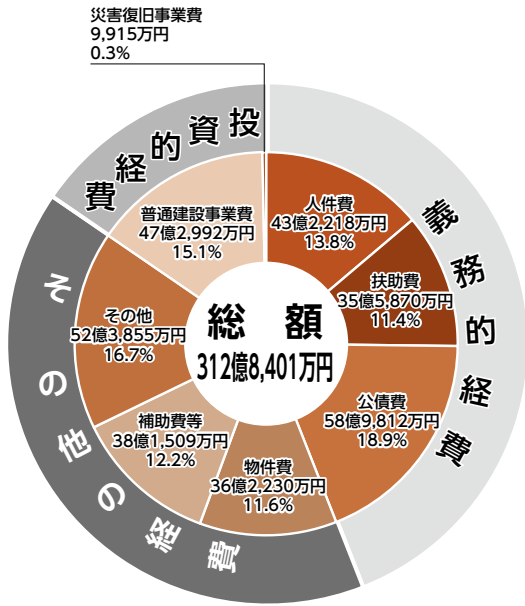
財政健全化法に基づく財政指標である実質公債費比率、将来負担比率については、いずれも早期健全化基準を下回っている。今後もさらに比率の低減に努め、財政の弾力化を図っていく必要がある。

「財政非常事態宣言」が解除された後も、引き続き公債費の抑制や繰上償還の実施、経常経費の削減に努力され、平成26年度決算も一般会計をはじめすべての会計で黒字となっている。しかし、平成27年度からの普通交付税の一本算定による交付税の減額、新庁舎建設や市立病院改築事業、そして少子・高齢化対策事業など、市の財政をとりまく課題は山積しており、今後も財政健全化に向けて一層の努力を図りたい。

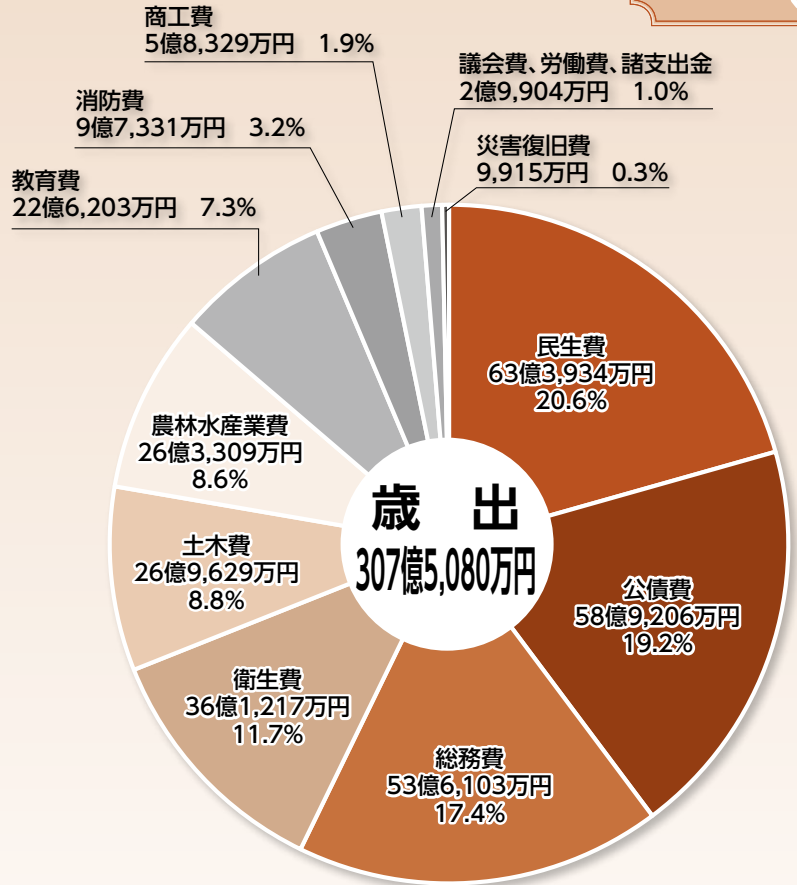
平成27年3月に中国横断自動車道尾道松江線が全線開通となり、交通の利便性は大きく増した。島根県への観光客の数は増加していくものと見込まれる。雲南市においても道の駅「たたらば壱番地」は市の南の玄関口として、観光客の誘致や周辺地域の経済活性化に大きな役割を果たしている。今後とも全線開通による交流人口の拡大を利用し、雲南市の観光や商工業などの産業振興にさらに力を入れる必要がある。

財政健全化への取り組みにあたっては、行政評価制度を十分活用し、市民への説明責任を果たしながら、公平かつ簡素で効率的な行財政システムの構築に努め、最小の経費で最大の効果が上がる財政運営を推進し、市民福祉の向上と市勢の発展に努められることを望む。

## 性質別決算額



積立金現在高 (平成26年度末) 111億2,348万円  
 地方債現在高 (平成26年度末) 354億6,646万円



## 主な事業

新庁舎建設事業	13億2,416万円	雲南市・飯南町事務組合負担金(清掃事業)	6億981万円
庁舎施設(里方分庁舎)整備事業	1億1,447万円	中山間地域等直接支払制度	3億1,974万円
松笠ふるさと活性化センター解体撤去事業	3,406万円	バイオマス関連整備事業	3億4,275万円
地域づくり活動等交付金事業	2億4,934万円	地籍調査事業	1億3,760万円
公共交通対策事業	2億3,482万円	商工業振興補助金	5,062万円
養護老人ホーム入所支援事業	2億677万円	道路維持・新設改良事業	5億5,260万円
特別養護老人ホームえがの里増床事業	3億1,067万円	国道整備関連事業	1億1,369万円
介護保険事業(負担金)	7億2,045万円	小・中学校施設整備事業	1億4,178万円
子ども医療費助成事業	1億2,581万円	菅谷たたら山内保存修理事業	8,496万円
病院事業会計補助金	9億8,609万円	災害復旧事業	9,915万円
		など	

## ❖ 主な財政指標

下段( )は平成25年度

項目	数値	説明	
財政力指数	0.249 (0.247)	財政基盤の強さを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことになります。	
経常収支比率	85.3% (84.1%)	毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低いほど財政運営に弾力性があり、高いほど財政運営が硬直化している状況を表しています。	
地方債現在高比率	181.3% (184.3%)	財政規模に対する地方債(長期に渡り返済する借金)の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。	
健全化判断比率	実質赤字比率	該当なし (該当なし)	一般会計等(普通会計)を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、12.51%以上で財政健全化団体に、20%以上で財政再生団体となります。
	連結実質赤字比率	該当なし (該当なし)	全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、17.51%以上で財政健全化団体に、30%以上で財政再生団体となります。
	実質公債費比率	13.4% (14.6%)	公債費の水準を測る指標です。一般会計等(普通会計)が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。この比率が25%以上になると財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
	将来負担比率	84.3% (83.4%)	地方債の残高をはじめ一般会計等(普通会計)が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。350%以上で財政健全化団体となります。
資金不足比率	該当なし (該当なし)	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各公営企業会計毎に算定することとされており、20%以上で経営健全化団体となり、財政健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。	

# 平成26年度決算報告（公営企業会計）

雲南市議会9月議会で認定された平成26年度公営企業会計（水道事業会計および工業用水道事業会計）決算をお知らせします。

## 水道事業

水高総務課  
☎0854-42-3473

### 収益的収入（料金収入等）および支出（維持管理費等）

平成26年度3月末現在の水道使用戸数は10,170戸、年度末の総有収水量（料金収入のもとになった給水量）は293万7,941m<sup>3</sup>でした。

総収益は8億7,711万円、総費用は8億1,638万円で6,073万円の黒字となりました。

水道料金収入6億3,007万円を総有収水量で割った1m<sup>3</sup>あたりの供給単価（有収水量1m<sup>3</sup>あたりの給水収益）は214円46銭となりました。一方、水道を供給するためにかかる1m<sup>3</sup>あたりの給水原価（有収水量1m<sup>3</sup>あたりの費用）は276円53銭でした。給水原価から供給単価を差し引くと62円7銭マイナスとなり原価を割って供給することになりますが、市からの営業補助等により損失額の縮減を図っています。

### 資本的支出（建設改良工事等）

平成26年度の資本的支出総額は5億3,786万円でした。このうち

建設改良費は3億2,352万円で、主な事業としては海潮地区簡易水道施設整備事業、三刀屋下熊谷線配水管改良工事などを行いました。また企業債償還金は2億1,434万円でした。

## 工業用水道事業

水高総務課  
☎0854-42-3473

### 収益的収入（料金収入等）および支出（維持管理費等）

平成26年度3月末現在の工業用水道利用者は島根三洋電機株式会社とホシザキ電機株式会社の2事業所で、年度末の総給水量は56万3,517m<sup>3</sup>でした。

総収益は4,808万円、総費用は6,455万円で、1,647万円の赤字となり、前年度繰越利益剰余金で補填しました。

### 資本的支出（建設改良工事等）

平成26年度の資本的支出総額は3,266万円で全額、企業債償還金でした。

平成26年度雲南市工業用水道事業会計損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	
	(税抜き)
営業収益	4,657万円
営業外収益	151万円
<b>経常収益 ①</b>	<b>4,808万円</b>
営業費用	5,098万円
営業外費用	1,307万円
<b>経常費用 ②</b>	<b>6,405万円</b>
特別損失③	50万円
<b>当年度純利益 (①-②-③)</b>	<b>△1,647万円</b>
前年度繰越利益剰余金	2,865万円
その他未処分利益剰余金変動額	19万円
当年度未処分利益剰余金	1,237万円
平成26年度雲南市工業用水道事業会計貸借対照表 (平成27年3月31日)	
	(税抜き)
固定資産	有形固定資産 5億5,965万円
	現金預金 2億2,957万円
流動資産	未収金 2万円
	貯蔵品 75万円
<b>資産合計</b>	<b>7億8,999万円</b>
固定負債	企業債 5億6,841万円
	引当金 2,441万円
流動負債	企業債 3,337万円
	未払金 146万円
	引当金 54万円
繰延収益	長期前受金 2,674万円
<b>負債合計</b>	<b>6億5,493万円</b>
資本金	8,878万円
剰余金	資本剰余金 52万円
	利益剰余金 4,576万円
<b>資本合計</b>	<b>1億3,506万円</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>7億8,999万円</b>

平成26年度雲南市水道事業会計損益計算書 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	
	(税抜き)
営業収益	6億4,278万円
営業外収益	2億2,668万円
<b>経常収益 ①</b>	<b>8億6,946万円</b>
営業費用	7億887万円
営業外費用	1億448万円
<b>経常費用 ②</b>	<b>8億1,335万円</b>
特別利益 ④	765万円
特別損失 ⑤	303万円
<b>当年度純利益 (①-②+③-④)</b>	<b>6,073万円</b>
前年度繰越利益剰余金	3,330万円
その他未処分利益剰余金変動額	6億1,487万円
当年度未処分利益剰余金	7億890万円
平成26年度雲南市水道事業会計貸借対照表 (平成27年3月31日)	
	(税抜き)
固定資産	有形固定資産 106億987万円
	無形固定資産 523万円
流動資産	現金預金 11億7,629万円
	未収金 7,601万円
	貯蔵品 814万円
<b>資産合計</b>	<b>118億7,554万円</b>
固定負債	企業債 44億8,014万円
	引当金 6,833万円
流動負債	企業債 2億1,788万円
	未払金 4,853万円
	引当金 635万円
	預り金 558万円
	その他流動負債 60万円
繰延収益	長期前受金 30億2,809万円
<b>負債合計</b>	<b>78億5,550万円</b>
資本金	30億1,452万円
剰余金	資本剰余金 2億5,721万円
	利益剰余金 7億4,831万円
<b>資本合計</b>	<b>40億2,004万円</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>118億7,554万円</b>

決算概要

平成26年度は、国の医療制度改革、診療報酬改定、公営企業会計の見直し、消費税のアップなど厳しい病院運営となりましたが、病床利用率において88・3%（一般病床87・9%（うち地域包括ケア病床90・4%）、回復期リハビリテーション病床92・1%、介護療養病床87・6%）の病床利用率の維持と、地域包括ケア病床43床の棟再編が功を奏し、経常収支は3,278万円の黒字となり3期連続の黒字計上が図れました。当期損益は、公営企業会計の見直しによる賞与繰入額などの特別損失により1億640万円の当期純損失となりました。また、内部留保資金は、単年度で1億5,710万円の蓄積により、繰越内部留保資金は10億5,353万円となり健全経営の基盤が図られて来ている。資本的支出総額は7億4,617万円で、このうち建設改良費は2億981万円で、病院建設実施設計業務委託料など1億1,906万円、光干渉断層計、下部内視鏡システムなど26件の医療機器の整備を行いました。また、企業債償還金は5億3,276万円（うち繰上償還金2億9,693万円）でした。

業務量

1. 病床数 281床  
（一般病床 203床（うち地域包括ケア 43床、感染症 4床）、回復期リハビリ病床 30床、介護療養病床 48床）
2. 延患者数、1日平均患者数、病床利用率

区分	延患者数（人）			1日平均患者数（人）			病床利用率（%）			
	前年度	本年度	増減	前年度	本年度	増減	前年度	本年度	増減	
入院	一般病床 （うち包括ケア）	66,263 —	65,116 (8,238)	△1,147 —	181.5 —	178.4 (38.9)	△3.1 —	89.4 (90.4)	△1.5 —	
	回復リハ	9,901	10,081	180	27.1	27.6	0.5	90.4	92.1	1.7
	介護療養	16,005	15,348	△657	43.9	42.0	△1.9	91.4	87.6	△3.8
	入院計	92,169	90,545	△1,624	252.5	248.0	△4.5	89.9	88.3	△1.6
	外来	98,254	95,878	△2,376	402.7	392.9	△9.8	—	—	—

財務諸表

(税抜き)	
医業収益	33億6,674万円
医業外収益	4億6,244万円
訪問看護収益	5,606万円
療養病床収益	2億4,488万円
<b>経常収益 ①</b>	<b>41億3,012万円</b>
医業費用	36億5,495万円
医業外費用	2億146万円
訪問看護費用	5,997万円
療養病床費用	1億8,096万円
<b>経常費用 ②</b>	<b>40億9,734万円</b>
<b>経常利益 ③（①－②）</b>	<b>3,278万円</b>
特別利益 ④	4,053万円
特別損失 ⑤	1億7,971万円
<b>当年度純損失（③＋④－⑤）</b>	<b>1億640万円</b>
前年度繰越利益剰余金	6,646万円
その他未処分利益剰余金変動額	8,033万円
当年度未処分利益剰余金	4,039万円

(税抜き)		
固定資産	有形固定資産	28億6,166万円
	投資その他の資産	3,186万円
流動資産	現金預金	7億4,649万円
	未収金	5億9,626万円
	貯蔵品他	1,819万円
繰延勘定	退職給与金	1,714万円
<b>資産合計</b>		<b>42億7,160万円</b>
固定負債	企業債	20億3,032万円
	企業債	2億1,873万円
	未払金	1億9,670万円
	引当金	1億5,538万円
流動負債	その他流動負債	1,588万円
	繰延収益	長期前受金
<b>負債合計</b>		<b>28億6,297万円</b>
資本金	資本金	13億6,824万円
剰余金	利益剰余金	4,039万円
<b>資本合計</b>		<b>14億863万円</b>
<b>負債・資本合計</b>		<b>42億7,160万円</b>